



誕生おめでとう

7/16生・新町
保護者〓正行・清夏



山館羽愛ちゃん

7/20生・城内小路
保護者〓純一・里美



澤田海くん



末永くお幸せに

〔世帯主〕

- (八幡 祐治 田子 清
- (津田 麻美 仙台市 麻美
- (中村 雄一 江刈川 雄一
- (石角 望 〃 〃
- (上家 皆応 田代 照男
- (木戸場しのぶ 小苗代 正一



やすらかに

〔世帯主〕

- 山下ウメノ (90 寺田) 一 江
 - 高宮 昭春 (77 中村) 晴 彦
 - 西野 タキ (97 小田) 茂
 - 柳岡 久松 (81 四日市) 徳 雄
 - 柳田 永藏 (86 茶屋場) キクノ
 - 林 チヨ (83 浦子内) 政 藏
 - 鳩岡 タキ (81 四日市) 明 男
 - 榎谷美智子 (55 四日市) 誠
 - 馬場 ツヨ (87 平船) 富 雄
 - 栗畑オキワ (87 栗山) カツミ
 - 本宮ヨシノ (82 車門) 唯 一
- ～以上 7月届け出分・敬称略～

町の人口

17.8.1現在 (前月比)

男	4,157人	(+ 2)
女	4,353人	(- 7)
計	8,510人	(- 5)
世帯数	2,930戸	(+ 4)

(住民基本台帳)

葛巻町合併50周年 回顧録

①北上山系開発事業の完工式であいさつする故高橋吟太郎町長(中央) ②町乳牛改良同志会が内閣総理大臣賞受賞(平成10年) ③茶屋場の競り場で開かれた県北ホルスタイン共進会(昭和47年)



町の畜産の大きな転機は昭和四十四年、国の新全国総合開発計画の大規模畜産開発プロジェクト地区に「北上山系地域」が選ばれたことに始まります。広大な未・低利用地の活用策を模索していた町は、この計画を受け、四十五年に町北上山系開発促進協議会を設置。各地区への説明などを経て、五十年、農用地開発公団の葛巻事業所が置かれ、いよいよ北上山系開発事業に着工しました。

待望の畜産団地は、着手から八年の歳月と、百四十六億五千万円の巨費が投入され、五十七年度に完工しました。この間、五十一年に各団地を管理運営する(社)葛巻町畜産開発公社を設立。五十五年、土谷川団地に山地酪農研修センターを開所し、町は後継者の育成にも力を注ぎました。

畜産環境を取り巻く数々の変遷の中で、明治二十五年の乳牛導入以来培われた伝統と酪農にかける情熱で、乳牛改良や基盤整備を進め、牛乳生産量が一日約一二〇ト(八月現在)、家畜飼養頭数が一万二千五百頭(平成十六年二月)、名実ともに「東北一の酪農郷」を誇るまでになりました。

広報室から



◎町内の至る所にきれいな花が咲いていて、気持ちいいですね。個々の家はもちろん、各地区で整備している花壇やプランターの花は行き交う人の心をなごませてくれます。▽今年初めてTMOで取り付けた街路灯のプランターからお花が数カ所無くなる騒ぎがあったようです。酔っぱらいのいたずらかなとの声もありますが、皆さんのために一生懸命手入れをしてくださる人たちの苦勞を考えると残念ですね。(落合)

◎十月一日に行われる国勢調査。大正九年から続いているそうです。すごいですね。総務大臣から任命を受ける調査員。今回は七十名の方にお願ひしています。五年に一度の調査とはいえ、昭和二十五年の調査から五十年以上、協力している方も。調査を支える影の力。同じ町民として頭が下がります。▽実は担当者のわたし。皆さんのご協力をお願いします！(尾野)